

公立一般入試終了 19日発表

3月12日公立一般入試が終わりました。今年の三田市内の高校の第1志願校出願状況で特徴的だったのは、2年連続定員割れの北摂三田が10名オーバー、ここ数年高倍率だった三田祥雲館11名オーバーに留まったことです。その理由の一つが「国公立大学合格者数の差異」があると考えます。北摂三田143名、三田祥雲館82名。さらに難関大学（京大・阪大・神大・大市大）に至っては北摂三田が38名に対して三田祥雲館は5名と大きな差が見られました。進学校にとって、大学進学実績は重要な決め手になるのです。

さて、新中3生にとっては「これまでで最も重要な1学期」が始まります。

①「行きたい高校を決めること」 ②「必要な通知表評価を知ること」
③「今やるべきことを自覚すること」 4月中に上記のことを認識できれば受験に向けて好スタートが切れます。残り日数は359日です。〔野垣勝彦〕

3/24	火	3月度授業終了
25~		春期講習スタート
4/4	土	春期公開テスト
6	月	1学期授業開始
11	土	やる気UP講座〔中1・中2〕
12	日	自習室開室(12:00~18:00)
18	土	附属池田高校進学説明会
25	土	やる気UP講座〔中3〕
29	水	昭和の日〔休室〕
30~		〔休室〕

※GW 休室は、4/29~5/5です。
※5/6(水)の振替休日は授業がございますので、ご注意ください。

学校の授業

部活動、学校の課題そして塾などなど。現代の子どもたちは本当に忙しい日々を過ごしています。そんな中でつつい軽視されがちなのが学校の授業です。みなさんは学校の授業を受けているときに「勉強している」という意識をどれくらい持っているのでしょうか。

休校が始まって2週間余りが過ぎました。この間、学校で過ごしている時間の長さを実感できたはず。普段はそれだけの時間を「学校の授業」に費やしていることも認識できるはず。

「時間がない」「忙しい」からこそ、普段の学校の授業を大切にすべきです。1日の中で最も長い時間を過ごす学校での学習を軽視して、成績向上などあり得ません。〔金子祐太〕

特進館のウイルス感染予防対策

開校以来、実施しています。

フーステーブル・トイレ等のアルコール消毒を毎日実施
大型プラスマイオン空気清浄機を全室に30台以上設置
全5か所の洗面手洗いに殺菌水自動洗浄装置を設置
手指消毒液・ウイルス対策スプレー・殺菌ハンドソープ
換気のない自習室/塾生一人あたりの面積は一般的な塾の6~7倍… (詳しくは、ホームページをご参照ください)

感染予防対策は開校以来の実施。今後もさらに強化していきます。

2月の“自習王”決定!

☆中学生の部
中3 上ノ園美空 **63.8 時間**

☆高校生の部
高3 渡邊 香子 **124.3 時間**

緊急時に見えてくる「主体性」

新型コロナによって津々浦々に影響が出るなか、高校入試が終わっても、いつものように塾に来て勉強をしている生徒がいます。また、塾には来ずとも、家で計画を立てて勉強している人もいます。学校が一斉に休校になるという前代未聞の事態にあっても、それに影響を受けることなく勉強を続けているのです。“Independence”とはこういうことだと思います。

〔酒井昂佑〕

4月分 3月27日(金)

学費の振替

春期講習のご案内を同封しております。講習費につきましては、お手数ですが当学院指定口座までお振込みをお願いいたします。4月分学費詳細につきましては明細のご確認をお願いいたします。

クレームは、貴重な宝物

「モンスターペアレント」という言葉が世の中に出て久しいが、恥ずかしながら私たちも、保護者の方からお叱りの言葉を頂戴することが年に数件。もちろん、モンスターではなく、冷静かつ丁寧に、こちら側の言い分も聞いていただける姿勢で話されるのだが、正直そのご指摘内容には、かなり手厳しいケースもある。

誰しもクレームを受けるのは辛いもの。しかし、そのクレームには私たちの気付かない貴重なアドバイスが含まれていることが多い。クレームが、受ける側より出す側に大きなエネルギーが必要であることも事実である。たとえばレストランに行って、料理がまずい・店員が態度横柄・異物混入…などで嫌な思いをした時、その場でクレームを言う人間は日本ではわずか2割程度だという。つまり、8割の人は何も言わずに「もう二度とその店に行かない」という行動に出る。でもこれでは、その店のサービスは永久に改善されない。

保護者の方からお叱りの言葉を頂戴した時に、私たちは最後に必ず「ありがとうございました」をお返しすることにしている。「勇気を出して叱って頂いたおかげで、私たちはさらに成長できる」ことへの感謝の証として。そして、その人たちとの絆はさらに深まる。だからこそ、『クレームは貴重な宝物』なのである。〔北村昌弘〕



代表北村の独り言…

新型コロナW騒動で、政府が休校要請を出して早2週間。これで終息をすれば大成功ですが、まだまだ収まる気配はなし。WHOの終息基準は「28日間、新たな感染者が出ないこと」だそうです…。「夏まで延長」なんてことにならないことを祈ります。

編集後記 新型コロナウイルス流行による休校措置がとられてもうすぐ1か月。突然の長い休みに入った子どもたちは、最初こそ休みを喜んだものの、外出もできず基本自宅で過ごすとなると、だんだんと飽きかきて、学校へ行きたいと毎日叫んでいます。習い事も自粛されているところが多く、何もしなければ時間だけが過ぎていく一日になってしまい…。学習以外に、お手伝いでも趣味でも、何かコレと決めたことに毎日取り組むことでメリハリをつけ、生活リズムを維持できるようにしてほしいです。